

平成 27 年度 第 5 回「防災スペシャリスト養成」企画検討会

議事概要

1. 検討会の概要

日 時：平成 28 年 1 月 8 日（金）10:00～12:00

場 所：中央合同庁舎 8 号館 5 階共用会議室 A

出席者：林座長、牛山委員、鍵屋委員、国崎委員、黒田委員、重川委員、丸谷委員、
渡邊委員、中林教授
緒方審議官、進藤参事官、山田参事官補佐

2. 議事概要

議題ごとに各委員による意見交換を行った。主な意見等は次のとおり。

(1) 資料 1-1 図による研修内容の体系的整理について

■ 第 1～第 3 階層までの構造について

- 研修で教えるべき内容を、階層構造で整理して体系図を作り、研修内容の抜け漏れ落ち重複をチェックする、という整理の仕方はわかりやすい。また、図中の個々の研修テーマに講義用スライドを対応させ、個々のテーマの内容がわかるようにしようという整理の仕方もよい。
- 第 2 階層の「予防力」の下に位置づけられている「被害予測」は、第 2 階層「予測力」の下に関連づけた方がよいのではないか。
- 第 2 階層の「対応力」の下の第 3 階層の分類は、資料 2-2 の 2 ページの図を参考に、「命を守る」、「日常生活を回復する」、「社会のストックを再建する」の 3 項目で整理してもよいのではないか。

■ 有明の丘研修コースの所掌

- この体系図は教えるべき内容の抜け漏れを確認するには優れている。ただし、実際に行われている研修コースの内容は、この図のようにきれいに分けられるわけではないので、図に書かれた割り当てに縛られず、コーディネーターの裁量で他のコースに割り当てられた内容でも研修内容に盛り込むことができるようにしていただきたい。
- この体系図に抜けている「人材育成」というテーマを、「予防力」の下にある「訓練」と置き換えてきちんと位置付けてはどうか。また、人材育成というテーマは多くの研修コースの内容に関係するものであり、適宜、各コースでも個別に教えればよいのではないか。

- ⑧「計画立案」～⑩「総合」の各研修コースは、自治体のマネジメント層向けの研修であり、この図の第1階層「防災能力の向上」のテーマの下にある全テーマを横断的に教える必要があるので行政職員向けコースとは別の視点で考えていくことが必要。

■全体の枠組みの考え方

- この体系図は、有明の丘研修で教えるべき内容が、抜け漏れ落ちなく網羅されているかを確認することが主な目的であり、最終的には研修の「指導要領」を作る基礎となるよう整理を進めていけばよいのではないか。
- 「防災の捉え方」を示すスライドは、P.12「自然災害の発生要因とリスク評価」のまとめのスライドをベースに考えていけばよい。

■その他

- 第1～3階層の上位の内容は、防災に取り組む職員の基本認識として把握しておくべきことであり、各講師が講義の中で何度でも説明することが望ましい。

(2)資料2-2のスライドの内容修正について

■全般的な指摘

- 資料2-2のページ数に関しては、このスライドが有明の丘研修で教える項目の全体を示す資料と捉えると、減らさなくてよいのではないか。
- 「2. 災害予防」などの中表紙のところに、「この章では何を学ぶのか」という教育目標を追加することで、受講者はこれから学ぶ研修の内容が一目で確認できるようになり、学習のモチベーションが高められるのではないか。

■個別の指摘

- P.57「災害時における職員の派遣・応援」、P.58「広域的支援部隊による応援」のスライドの内容は広域支援についての説明にはなっていないのではないか。広域支援について説明するまとめのスライドが必要。
- P.82「罹災者証明の発行」は、「復旧復興」の章ではなく「被災者支援」の重要な項目として位置づける方が望ましい。
- 4-4. 「復旧復興」の章では、P.88の「復旧復興」のまとめのページを活かすようこの章の整理のしかたについてさらに検討した方がよいのではないか。
- P.87「復興まちづくり」の前に、「復興計画」についての説明のスライドがあるべき。

議題(3)その他について

特に議論なし。